

イサクの嫁①: Isaac's search for a bride

アブラハムは年を重ねて、老人になっていた。主は、あらゆる面でアブラハムを祝福しておられた。アブラハムは、自分の全財産を管理している、家の最年長のしもべに、こう言った。「あなたの手を私のもの下に入れてくれ。私はあなたに、天の神、地の神である主にかけて誓わせる。私はカナン人の間に住んではいるが、あなたは、その娘たちの中から、私の息子の妻を迎えてはならない。あなたは、私の国、私の親族のところに行って、私の息子イサクに妻を迎えなさい。」しもべは彼に言った。「もしかしたら、その娘さんが、私についてこの地に来ようとしませんか。もしも、その場合、ご子息をあなたの出身地へ連れて戻らなければなりませんか。」アブラハムは彼に言った。「気をつけて、息子をそこへ連れて戻ることのないようにしなさい。天の神、主は、私の父の家、私の親族の地から私を連れ出し、私に約束して、『あなたの子孫にこの地を与える』と誓われた。その方が、あなたの前に御使いを遣わされるのだ。あなたは、そこから私の息子に妻を迎えなさい。もし、その娘があなたについて来ようとしなければ、あなたはこの、私との誓いから解かれる。ただ、私の息子をそこに連れて戻ることだけはしてはならない。」それでもしもべは、主人であるアブラハムのももの下に自分の手を入れ、このことについて彼に誓った。しもべは主人のらくだの中から十頭を連れて出かけた。主人のあらゆる良い品々をその手に携えていた。彼は立って、アラム・ナハライムのナホルの町へ行った。

コメント: サラは死んで、アブラハムは老人になっていた。息子のイサクにはまだ、嫁がいなかった。それで、アブラハムはしもべに、イサクの嫁を探しに、アブラハムの故郷の町に行って、探して連れて戻るように、命じました。そこにはアブラハムの兄弟ナホルが住んでいる町である。その場所までは、何百kmも離れているところです。当時、しもべにとって、大変な重荷であったであろうと思います。神はアブラハムを祝福すると約束されました。創世記 17 章 8 節『わたしは、あなたの寄留の地、カナンを、あなたとあなたの後の子孫に永遠の所有として与える。わたしは彼らの神となる。』【Also I give to you and your descendants after you the land in which you are a stranger, all the land of Canaan, as an everlasting possession; and I will be their God.】神は祝福して、カナンの地をアブラハムの子孫に与えると言われました。しかしイサクに子供が生まれなければ子孫は増えません。そして、カナン人からイサクの嫁を迎えてはならないとアブラハムはしもべに伝えました。アブラハムは神の言葉を守る人でした。カナン人は神を信じておらず、神からの裁きを受ける者たちです。申命記 20 章 17 節『すなわち、ヒッタイト人、アモリ人、カナン人、ペリジ人、ヒビ人、エブス人は、あなたの神、主が命じられたとおりに必ず聖絶しなければなりません。』【but you shall utterly destroy them: the Hittite and the Amorite and the Canaanite and the Perizzite and the Hivite and the Jebusite, just as the Lord your God has commanded you,】神は聖絶、すなわち全員を殺すことを命じられました。神を信じない者は神は容赦なく裁かれます。神は異邦の人々を裁き、イスラエルの民をその場所に住まわせます。しもべはアブラハムに誓いました。旧約ではしばしば誓いがなされます。誓いをもって約束したことは必ず果たさなければなりません。もしそうしなかった場合、神の罰を受けることとなります。最も恐るべきことは偽りの誓いです。そのために旧約の人々は恐れをもって神に誓います。しかし、新約では誓ってはならないと書かれてあります。ヤコブの手紙 5 章 12 節『私の兄弟たち。とりわけ、誓うことはやめなさい。天にかけても地にかけても、ほかの何にかけても誓ってははいけません。あなたがたの「はい」は「はい」、「いいえ」は「いいえ」でありなさい。そうすれば、さばきにあうことはありません。』【But above all, my brethren, do not swear, either by heaven or by earth or with any other oath. But let your “Yes” be “Yes,” and your “No,” “No,” lest you fall into judgment.】ヤコブはイエス・キリストが言われたことを書き記しています。イエス・キリストによって神の約束は成就しました。人はそれに付け加えて誓う必要はありません。それで、ヤコブは「はい」は「はい」、「いいえ」は「いいえ」とだけ言いなさいと書いています。誓いは約束の成就のために使われることばで、神は約束をイエス・キリストによって果たされました。